

マテリアルライフ学会 「第7回マイクロプラスチック・シンポジウム」

【会期】2024年12月9日（月）13時00分～17時15分 【会場】オンライン開催

海に流れ出た大量のプラスチックごみが引き起こす環境汚染が世界的な問題になっています。2019年に大阪で開かれたG20首脳会議で「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が宣言され、2022年4月には、プラスチックの資源循環を一層推進していくことを目的に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されるなど、日本政府はその対策に取り組んでいます。また、各国・各機関もそれぞれ独自に対策に取り組んでいます。私たちは、プラスチックごみ・マイクロプラスチック問題の根本解決には以下に示す4項目を同時に取り組むことが必要と考えています。

- ① 環境中にプラスチックごみをLeakしない産業構造（循環型産業）への変革
- ② 環境中にLeakしたプラスチックごみの実態調査とその回収作業・方法
- ③ 環境中にLeakしたプラスチックがマイクロプラスチックにまで細片化するメカニズム、分析法や生物に与える影響などの基礎研究
- ④ 環境中へのプラスチックごみのLeakを規制する施策の推進（ISO、国内法の整備、国際的な共同作業など）

マテリアルライフ学会では、劣化やエコマテリアルを専門に扱う学会として、プラスチックごみ問題に取り組んでいる専門家や第一線のマイクロプラスチック研究者を招聘し、最新情報の共有と意見交換を目的として2018年以降毎年マイクロプラスチック・シンポジウムを開催してきました。第1回～第5回シンポジウムでは、プラスチックごみ・マイクロプラスチック問題をわかりやすく広報する目的で開催してきましたが、第6回シンポジウムからは少し開催趣旨を変えて、プラスチックごみ・マイクロプラスチック問題を解決する具体策を議論するような場を提供したいと考えています。

これを受けて、マテリアルライフ学会では2024年12月9日に第7回マイクロプラスチック・シンポジウムを開催します。今回は4名の講演者に、上記に示した4項目について講演していただき議論します。

プラスチックごみやマイクロプラスチック問題に関心をお持ちの方々の参加をお待ちしております。

シンポジウムは、下記の要領で開催します。

日時：2024年12月9日（月）13：00～17：15

会場：オンライン開催（Zoom）

主催：マテリアルライフ学会

協賛（予定）：機能性フィルム研究会、繊維学会、日本ゴム協会、プラスチック成形加工学会、色材協会、日本材料学会、日本化学会、高分子学会、日本建築学会、特定非営利活動法人最終処分場技術システム研究協会、公益財団法人日本下水道新技術機構、日本分析化学会、日本水環境学会、廃棄物資源循環学会、他

募集人員：100名

参加費（予稿集代含む）

予稿集はシンポジウム後の送付となります）：

マテリアルライフ学会員：3000円、協賛団体会員、講演者所属団体会員：3000円、非会員：6000円

申込方法：

申込用紙によるメール、FAX、郵便による直接申込またはマテリアルライフ学会HPより

プログラム（敬称略）：

13時00分～13時05分：開会挨拶（黒田真一）

第I部：座長 五十嵐敏郎

13時05分～14時05分：講演1

【講演者】三井化学：阿久津高志

【演題】プラスチック素材のトレーサビリティを可能にする資源循環プラットフォーム

【内容】廃プラスチックを資源としてリサイクルさせる社会的要請が強まる中、リサイクルにおけるコスト面・技術面に加え、材料の由来や含有物質の明確化などトレーサビリティ（追跡可能性）の担保が課題となっている。当社

はブロックチェーン技術を活用し、プラスチックリサイクルに関わる情報をバリューチェーン全体で共有するためのトレーサビリティシステム (RePLAYER[®] ブロックチェーンプラットフォーム) を構築した。当プラットフォームの概要とユースケースについて紹介し、あわせて資源循環型社会の実現に向けたソーシャルイノベーションを目指すコンソーシアム「Pla-chain」の取り組みを紹介する。

14 時 05 分～15 時 05 分：講演 2

【講演者】 相山女学園大学：小林かおり

【演題】 グローバルサウスとの連携を通じたコミュニティベースの海洋ごみ動態把握：研究概要とプロジェクト事例

【内容】 環太平洋の海洋プラスチック汚染の解明に向け、グローバルサウスを含む環太平洋地域の海洋ごみの放出と漂着の問題を調査している。その第一段階として、黒潮上にある島嶼地域である西表島、セブ島、台湾における海洋プラごみの「放出」と「漂着」について、国内外の研究機関・NGO 等と協力してコミュニティベースの調査を行っている。今回の講演では、グローバルサウスの中でもフィリピンを中心に講演すると同時に、2024 年 11 月より国際助成を受け開始予定のコミュニティベースの取り組みについても紹介する。

第Ⅱ部：座長 黒田真一

15 時 10 分～16 時 10 分：講演 3

【講演者】 千葉工業大学：亀田 豊

【演題】 河川、海洋中のプラスチックごみの実態調査結果とその回収作業方法

【内容】 環境中のプラスチックゴミは 25 mm 以上のマクロプラスチック、メソプラスチック、マイクロプラスチックおよび 1 μm 未満のナノプラスチックまでサイズが広範囲にわたるほか、様々な形状であるため、採取方法や分析方法は国内外で未だに検討段階である。本講演では東京湾や河川におけるマクロプラスチックからマイクロプラスチックまでの本研究室の調査事例を紹介するとともに、その結果事例を報告する。

16 時 10 分～17 時 10 分：講演 4

【講演者】 九州大学：高原 淳

【演題】 高分子固体の環境劣化におよぼす階層構造の影響

【内容】 高分子固体の環境劣化は、化学的劣化、物理的劣化、生分解に分類され、これらは結晶構造や非晶質、相分離構造などの階層的な構造に影響を受けます。本講演では、様々な階層構造を持つ高分子材料が環境劣化に伴ってどのように構造や物性が変化するかを解説し、その結果として起こるマイクロプラスチック生成との関連についても議論します。

----- キリトリセン -----

行事申込用紙

【申込先】 マテリアルライフ学会 〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16 (株)ソウブン・ドットコム内 TEL.03-3893-0111 FAX.03-3893-6611 E-mail:mls@kt.rim.or.jp	
参加申込書 (コピー可)	行事名：マテリアルライフ学会 「第7回マイクロプラスチック・シンポジウム」 (2024.12.9)
	参加者名 (複数可) 【参加費】 マテリアルライフ学会員：□ 3,000 円 協賛団体会員、講演者所属団体会員：□ 3,000 円 非会員：□ 6,000 円
	勤務先 TEL. FAX. E-mail :
【送金方法】 どちらかを選択し○で囲んでください ①銀行振込：みずほ銀行 兜町支店 普通口座 1505652 ②郵便振替：00120-2-708181 振込予定__月__日 口座名：マテリアルライフ学会 ※請求書 (要・不要)	連絡先 〒 ----- -----

※参加費の該当箇所を○で囲んで下さい。

↑※連絡先は明瞭にご記入下さい。